

1 人口動態の説明

1. 対象期間 2009年（平成21年） [2009.1.1～2009.12.31]

2. 用語の解説

自然増加	出生数から死亡数を減じたものをいう。
乳児死亡	生後1年未満の死亡をいう。
新生児死亡	生後4週未満の死亡をいう。
早期新生児死亡	生後1週未満の死亡をいう。
死産	妊娠満12週（妊娠第4月）以後の死児の出産をいい、死児とは、出産後において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。
自然死産と人工死産	人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置（胎児又は付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産とする。 なお、人工的処置を加えた場合でも、次のものは自然死産とする。 （1）胎児を出生させることを目的とした場合 （2）母体内の胎児が生死不明か、又は死亡している場合
周産期死亡	妊娠満22週（154日）以後の死産に早期新生児死亡を加えたものをいう。
年少人口	15歳未満人口をいう。
生産年齢人口	15歳以上65歳未満人口をいう。
老年人口	65歳以上人口をいう。

3. 各比率の算出方法

出生率＝年間出生数／9月末日現在福山市住民基本台帳人口×1,000

死亡率＝年間死亡数／9月末日現在福山市住民基本台帳人口×1,000

死因別死亡率＝死因別死亡数／9月末日現在福山市住民基本台帳人口×100,000

乳児死亡率＝年間乳児死亡数／年間出生数×1,000

新生児死亡率＝年間新生児死亡数／年間出生数×1,000

自然増加率＝自然増加数／9月末日現在福山市住民基本台帳人口×1,000

死産率＝年間死産数／年間出産数（出生数+死産数）×1,000

自然死産率＝年間自然死産数／年間出産数（出生数+死産数）×1,000

人工死産率＝年間人工死産数／年間出産数（出生数+死産数）×1,000

周産期死亡率＝年間周産期死亡数／年間出産数（出生数+妊娠満 22 週以後の死産数）×1,000

婚姻率＝年間婚姻届出件数／9 月末日現在福山市住民基本台帳人口×1,000

離婚率＝年間離婚届出件数／9 月末日現在福山市住民基本台帳人口×1,000

合計特殊出生率（粗再生産率）＝（母の年齢別出生数／年齢別女子人口）15 歳から 49 歳までの合計
※ 1 人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。

総再生産率＝（母の年齢別女兒出生数／年齢別女子人口）15 歳から 49 歳までの合計
※ 合計特殊出生率の場合は生まれる子は男女両方を含んでいるが、総再生産率はこれを女兒だけについて求めた指数で、1 人の女子がその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの女兒数に相当する。

年齢調整死亡率＝（観察集団の各年齢（年齢階級）の死亡率）×（基準人口集団のその年齢（年齢階級）の人口）の各年齢（年齢階級）の総和／基準人口集団の総数
※ 年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率（基準人口は、昭和 60 年モデル人口を使用）

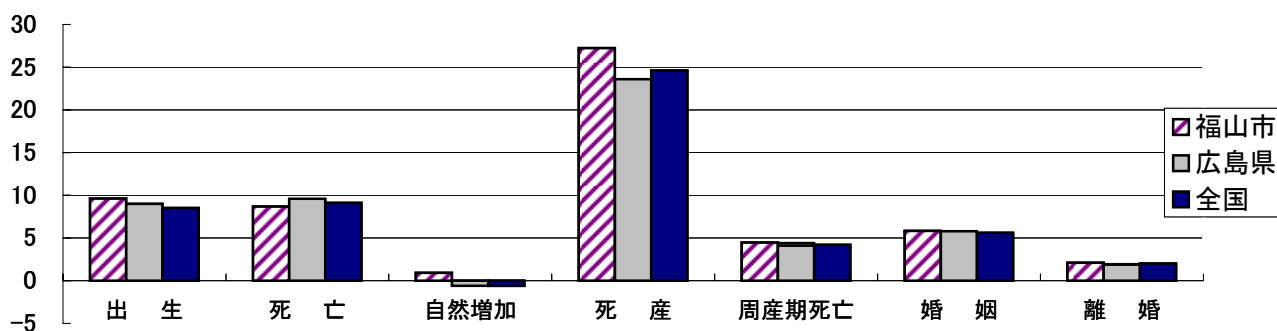
2 総覧

区分	実数			率			平均発生間隔			
	2009	2008	増減	福山市 (前年)	広島県	全国	福山市		全国	
							分	秒	分	秒
出生	4,467	4,429	38	9.6 (9.5)	9.0	8.5	117	39		29
男	2,202	2,325	▲ 123	9.8 (10.3)	9.6	9.0	238	41		57
女	2,265	2,104	161	9.5 (8.8)	8.5	8.1	232	3	1	1
死亡	4,038	4,122	▲ 84	8.7 (8.9)	9.5	9.1	130	9		28
男	2,129	2,183	▲ 54	9.4 (9.7)	10.3	9.9	246	52		52
女	1,909	1,939	▲ 30	8.0 (8.1)	8.9	8.3	275	19		59
(再掲) 乳児死亡	5	18	▲ 13	1.1 (4.1)	2.4	2.4	105,120	0	205	38
新生児死亡	2	5	▲ 3	0.4 (1.1)	1.3	1.2	262,800	0	419	8
自然増加	429	307	122	0.9 (0.7)	▲ 0.5	▲ 0.6
死産	125	109	16	27.2 (24.0)	22.2	24.6	4,204	48	19	28
自然死産	54	49	5	11.8 (10.8)	9.5	11.1	9,733	20	43	2
人工死産	71	60	11	15.5 (13.2)	12.7	13.5	7,402	49	35	32
周産期死亡	20	19	1	4.5 (4.3)	4.4	4.2	26,280	0	116	19
妊娠満22週以後の死産	19	15	4	4.2 (3.4)	3.4	3.4	27,663	9	144	12
早期新生児死亡	1	4	▲ 3	0.2 (0.9)	1.0	0.8	525,600	0	601	22
婚姻	2,708	2,738	▲ 30	5.8 (5.9)	5.6	5.6	194	5		45
離婚	978	874	104	2.10 (1.88)	1.94	2.01	537	25	2	4

注) 1日=1,440分

区分	2005	2006	2007	2008	2009
合計特殊出生率	1.38	1.43	1.51	1.52	1.57
総再生産率	0.66	0.69	0.74	0.72	0.79
年齢調整死亡率 男	4.9	4.7	4.5	4.7	4.5
年齢調整死亡率 女	3.3	3.3	3.1	3.2	3.0

率による比較



注) 率の算出方法はそれぞれ異なるため、各項目における比較に用いること。

3 各表

(1) 出生

表1 出生の動向

区分	出生数(人)			出生率			合計特殊出生率		
	2009	2008	2007	2009	2008	2007	2009	2008	2007
福山市	4,467	4,429	4,509	9.6	9.5	9.7	1.57	1.52	1.51
広島県	25,596	25,560	25,887	9.0	9.0	9.1	1.47	1.45	1.43
全国	1,070,035	1,091,156	1,089,818	8.5	8.7	8.6	1.37	1.37	1.34

注)出生率は人口千人対である。

表2 出生時の平均体重及び2500g未満の出生数

区分	総数			男			女		
	平均体重(kg)	2,500g未満の出生		平均体重(kg)	2,500g未満の出生		平均体重(kg)	2,500g未満の出生	
		実数(人)	割合(%)		実数(人)	割合(%)		実数(人)	割合(%)
福山市	2.99	439	9.8	3.04	179	8.1	2.95	260	11.5
広島県	3.00	2,501	9.8	3.03	1,155	8.8	2.96	1,346	10.8
全国	3.00	102,671	9.6	3.04	46,642	8.5	2.96	56,029	10.8

注)2009年福山市出生数(男:2,202人,女:2,265人,計:4,467人)

(再掲)

福山市	総数		男		女	
	実数(人)	%	実数(人)	%	実数(人)	%
1,500g未満の出生	29	0.6	13	0.6	16	0.7
1,000g未満の出生	8	0.2	2	0.1	6	0.3

表3 平均出産年齢

(単位:歳)

福山市	総数	第1子	第2子	第3子	第4子以上
母親	30.3	28.7	31.1	32.6	33.5

表4 母の年齢(5歳階級)・出生順位別にみた出生数及び合計特殊出生率

(出生数)

母の年齢	福山市				全国			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	4,467	2,090	1,624	753	1,070,035	512,742	390,073	167,220
14歳以下	1	1	0	0	67	67	0	0
15~19	85	74	11	0	14,620	13,102	1,444	74
20~24	589	383	167	39	116,808	79,224	31,812	5,772
25~29	1,459	815	478	166	307,765	176,222	100,084	31,459
30~34	1,510	599	619	292	389,793	163,474	159,422	66,897
35~39	743	199	319	225	209,706	69,866	86,138	53,702
40~44	79	19	30	30	30,566	10,525	10,998	9,043
45~49	1	0	0	1	684	249	167	268
50歳以上	0	0	0	0	20	8	7	5

注1)出生順位とは、同じ母親がこれまでに生んだ出生子の総数について数えた順序である。

2)総数には母の年齢不詳を含む。

(合計特殊出生率)

母の年齢	福山市				全国			
	総数	第1子	第2子	第3子以上	総数	第1子	第2子	第3子以上
総数	1.57	0.7678	0.5561	0.2458	1.37	0.6782	0.4889	0.2013
15~19	0.0395	0.0344	0.0051	-	0.0249	0.0223	0.0024	0.0001
20~24	0.2509	0.1637	0.0708	0.0165	0.1779	0.1211	0.0482	0.0087
25~29	0.5573	0.3120	0.1821	0.0632	0.4320	0.2476	0.1403	0.0441
30~34	0.4883	0.1955	0.1996	0.0932	0.4756	0.2008	0.1940	0.0808
35~39	0.2072	0.0559	0.0887	0.0626	0.2217	0.0738	0.0910	0.0568
40~44	0.0261	0.0064	0.0098	0.0100	0.0354	0.0122	0.0127	0.0105
45~49	0.0004	-	-	0.0004	0.0009	0.0003	0.0002	0.0003

注)合計特殊出生率について、算出に用いた出生数の15歳及び49歳にはそれぞれ14歳以下、50歳以上を含む。

表5 年齢別出生数

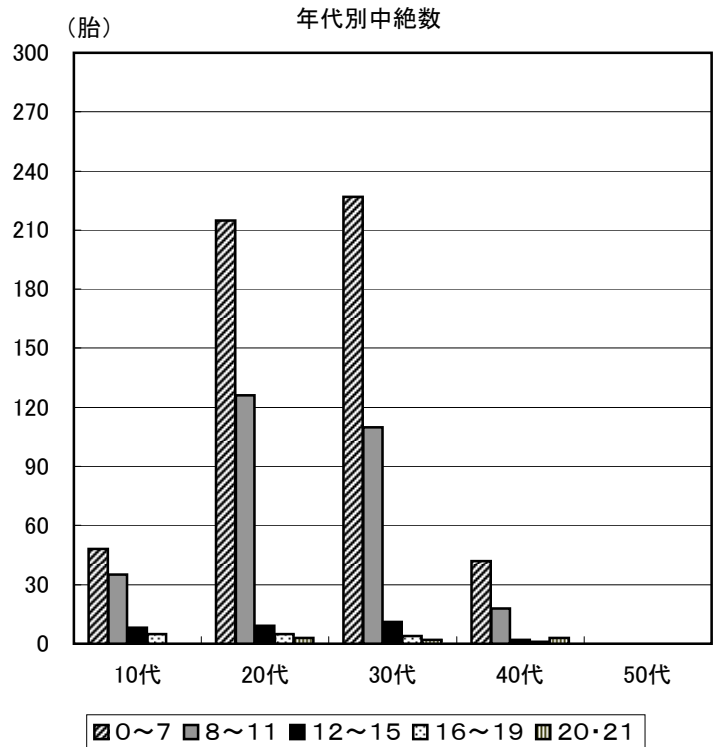
(単位:人)

母の年齢	出生数	% ¹	低出生体重児	% ²
12歳	0		0	
13歳	1		1	
14歳	0		0	
15歳	1		0	
16歳	7		0	
17歳	11		0	
18歳	16		2	
19歳	50		5	
10代	86	1.9%	8	9.3%
20歳	70		7	
21歳	96		6	
22歳	103		10	
23歳	144		6	
24歳	176		23	
20～24歳	589	13.2%	52	8.8%
25歳	215		22	
26歳	287		35	
27歳	310		31	
28歳	314		38	
29歳	333		23	
25～29歳	1,459	32.7%	149	10.2%
30歳	328		29	
31歳	324		30	
32歳	322		23	
33歳	272		22	
34歳	264		24	
30～34歳	1,510	33.8%	128	8.5%
35歳	221		26	
36歳	198		19	
37歳	144		24	
38歳	101		12	
39歳	79		10	
35～39歳	743	16.6%	91	12.2%
40歳～	80	1.8%	11	13.8%
総数	4,467	100%	439	9.8%

表6 年代別中絶数

(単位:胎)

妊娠週数	0～7	8～11	12～15	16～19	20・21	計
10代	48	35	8	5	0	96
20代	215	126	9	5	3	358
30代	227	110	11	4	2	354
40代	42	18	2	1	3	66
50代	0	0	0	0	0	0
計	532	289	30	15	8	874



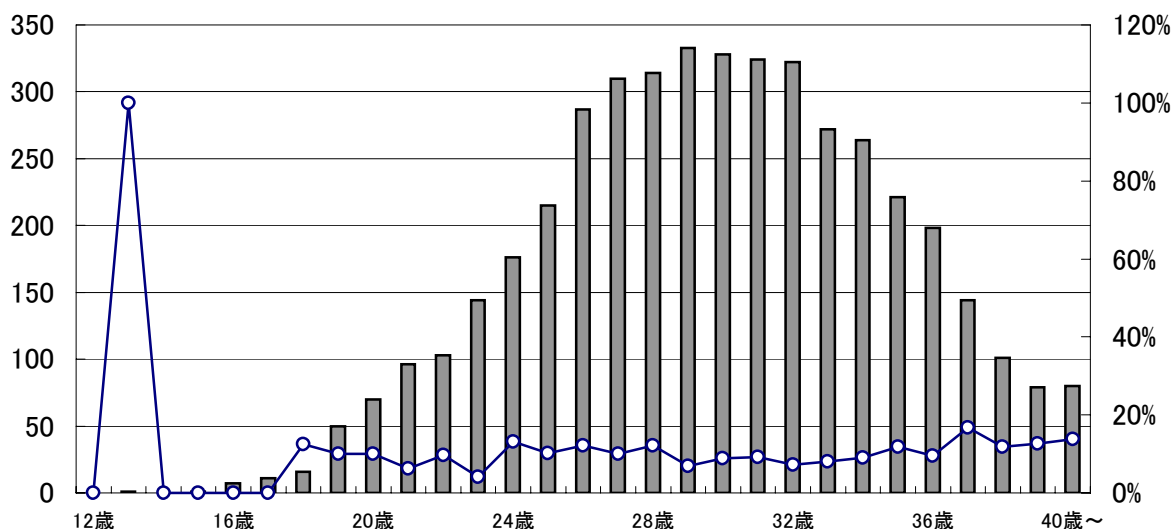
注) 中絶数は福山市内の医療機関で中絶手術を受けた者のうち、市内在住者の数である。(2009.1.1～2009.12.31)

注1)「%¹」は総出生数に占める各年代の出生割合。「%²」は各年代の出生数に占める低出生体重児の割合。

2) 低出生体重児とは、体重が2,500g未満の出生児をいう。

母親の年齢別出生割合

■ 出生数 ○ 低出生体重児率



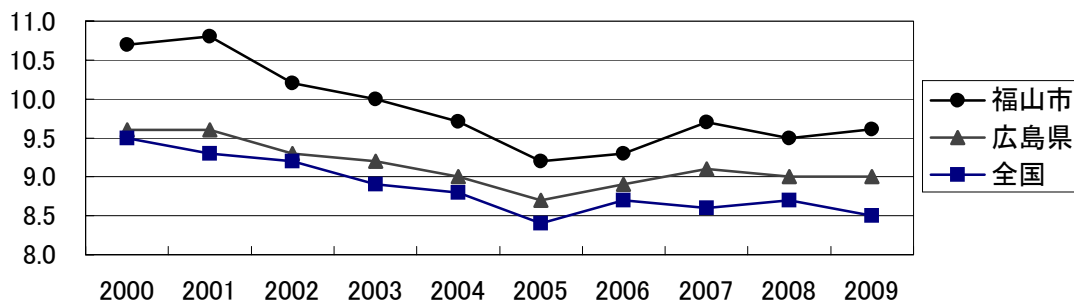
[各統計数値の推移]

表7 出生率及び合計特殊出生率の推移

区分	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
福山市	10.7	10.8	10.2	10.0	9.7	9.2	9.3	9.7	9.5	9.6
	1.54	1.52	1.44	1.45	1.44	1.38	1.43	1.51	1.52	1.57
広島県	9.6	9.6	9.3	9.2	9.0	8.7	8.9	9.1	9.0	9.0
	1.41	1.37	1.34	1.34	1.33	1.34	1.37	1.43	1.45	1.47
全国	9.5	9.3	9.2	8.9	8.8	8.4	8.7	8.6	8.7	8.5
	1.36	1.33	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37

注) 上段が出生率, 下段が合計特殊出生率である。

出生率の推移



合計特殊出生率の推移

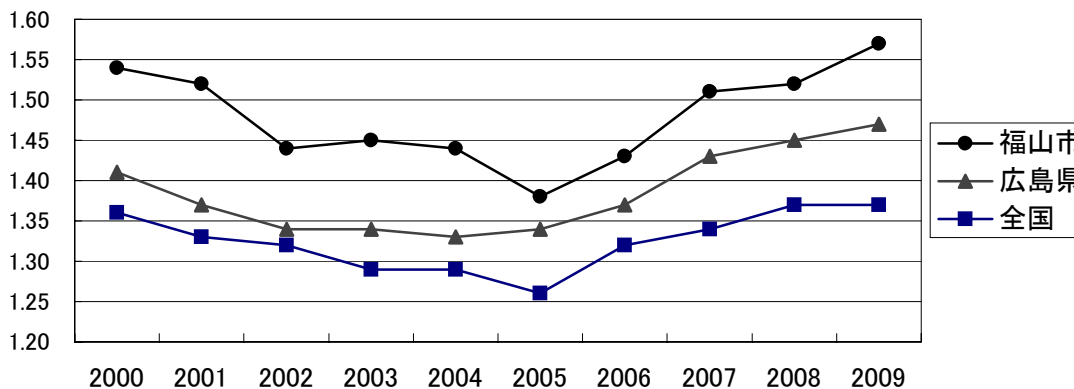


表8 10代(母の年齢)の出生数の推移

年次	出生数 (人)	10代の出生数	
		実数(人)	割合(%)
2000	4,054	96	2.4
2001	4,118	98	2.4
2002	3,898	87	2.2
2003	4,091	94	2.3
2004	3,970	91	2.3
2005	3,880	72	1.9
2006	4,326	93	2.1
2007	4,509	98	2.2
2008	4,429	85	1.9
2009	4,467	86	1.9

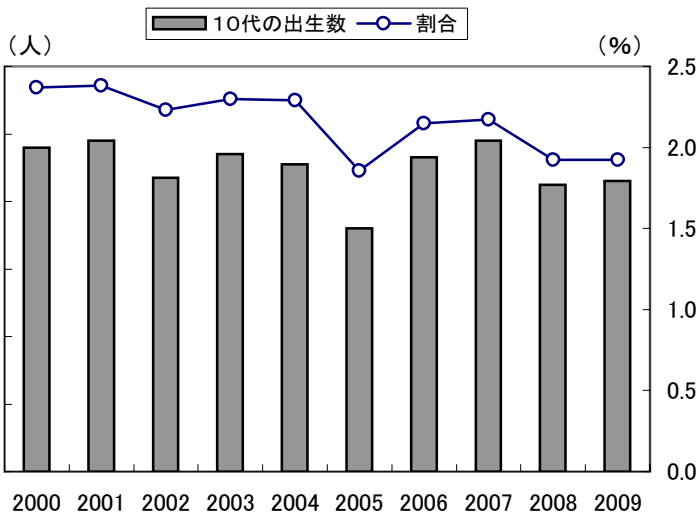


表9 低出生体重児の推移

年次	出生数 (人)	2,500g未満		1,500g未満		1,000g未満	
		実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)
2000	4,054	348	8.6	20	0.5	10	0.2
2001	4,118	366	8.9	28	0.7	12	0.3
2002	3,898	356	9.1	25	0.6	10	0.3
2003	4,091	361	8.8	36	0.9	16	0.4
2004	3,970	374	9.4	32	0.8	10	0.3
2005	3,880	334	8.6	27	0.7	11	0.3
2006	4,326	409	9.5	46	1.1	20	0.5
2007	4,509	427	9.5	34	0.8	16	0.4
2008	4,429	446	10.1	45	1.0	17	0.4
2009	4,467	439	9.8	29	0.6	8	0.2

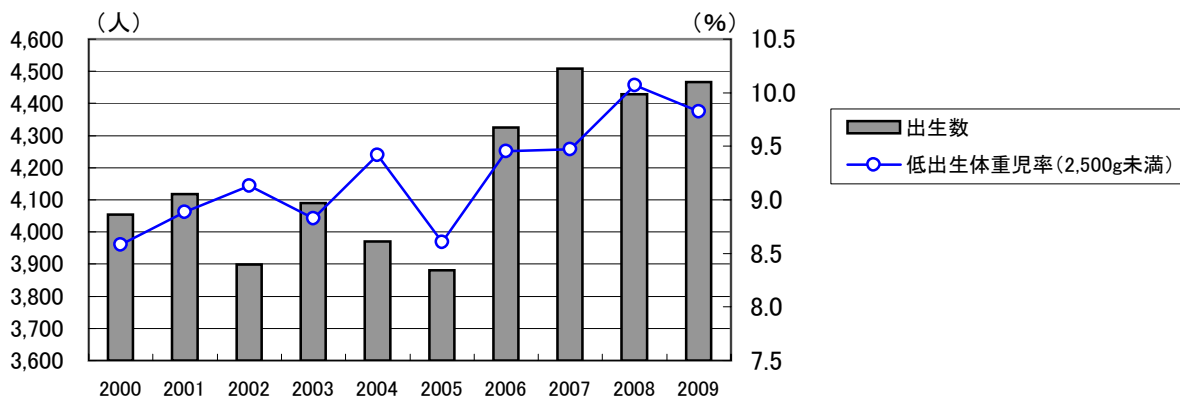


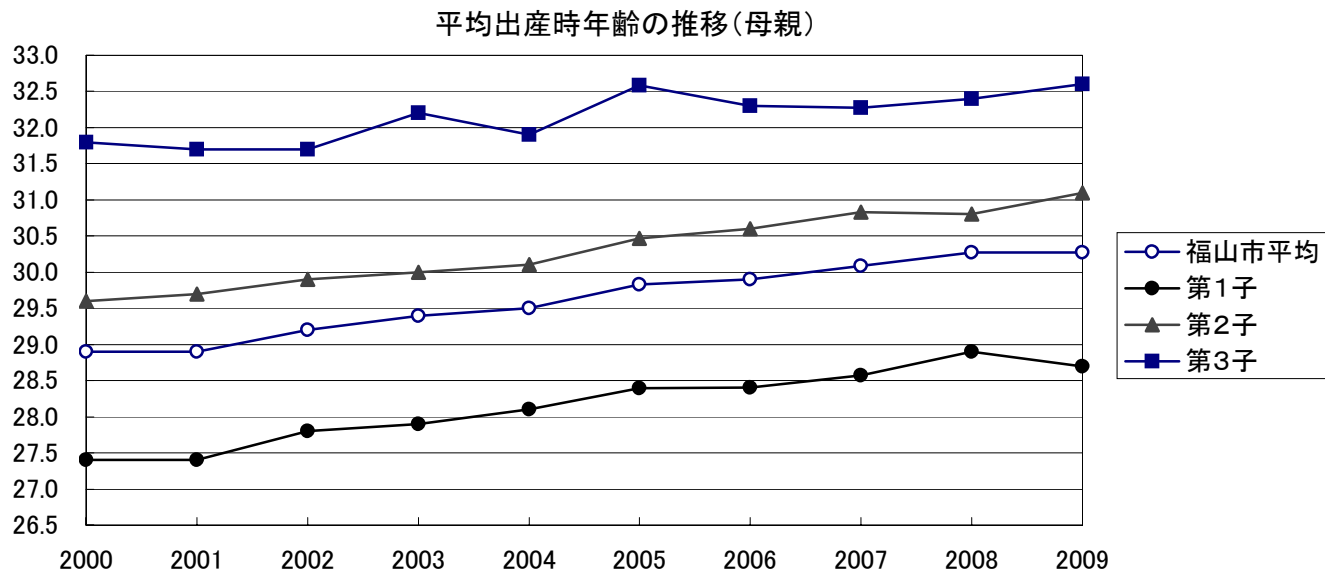
表10 平均出産時年齢の推移

(父親) (単位:歳)

区分	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
総数	30.3	31.0	30.4	30.4	30.4	31.6	31.6	31.8	32.0	32.0
第1子	28.5	29.4	28.9	28.7	28.9	30.2	30.3	30.3	30.8	30.5
第2子	31.3	31.8	31.5	31.4	31.4	32.1	32.2	32.5	32.4	32.8
第3子	34.1	34.0	32.6	33.2	32.9	34.5	33.8	33.8	34.2	34.3

(母親) (単位:歳)

区分	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
総数	28.9	28.9	29.2	29.4	29.5	29.8	29.9	30.1	30.3	30.3
第1子	27.4	27.4	27.8	27.9	28.1	28.4	28.4	28.6	28.9	28.7
第2子	29.6	29.7	29.9	30.0	30.1	30.5	30.6	30.8	30.8	31.1
第3子	31.8	31.7	31.7	32.2	31.9	32.6	32.3	32.3	32.4	32.6



(2) 死亡

表1 死亡の動向

区分	死亡数(人)			死亡率		
	2009	2008	2007	2009	2008	2007
福山市	4,038	4,122	3,770	8.7	8.9	8.1
広島県	26,992	27,150	26,070	9.5	9.6	9.2
全国	1,141,865	1,142,407	1,108,334	9.1	9.1	8.8

注)死亡率は人口千人対である。

表2 年齢調整死亡率の全国比較

区分	2009		2008		2007	
	男	女	男	女	男	女
福山市	4.5	3.0	4.7	3.2	4.5	3.1
全国	5.4	2.7	5.6	2.8	5.6	2.8

注)S60年モデル人口を基準に算出したもので、年齢調整死亡率は人口千人対である。

表3 死因順位

福山市(2009)					
順位	死因	死亡数(人)	死亡率	割合(%)	平均年齢
	全死因	4,038	868.5	100.0	78.7
1	悪性新生物	1,200	258.1	29.7	74.4
2	心疾患	612	131.6	15.2	81.6
3	脳血管疾患	412	88.6	10.2	81.7
4	肺炎	396	85.2	9.8	86.5
5	不慮の事故	146	31.4	3.6	74.0
6	老衰	140	30.1	3.5	94.3
7	腎不全	101	21.7	2.5	85.0
8	自殺	99	21.3	2.5	50.0
9	肝疾患	77	16.6	1.9	68.4
10	慢性閉塞性肺疾患	59	12.7	1.5	83.5

全国(死亡率)		
死因	2009	2004
全死因	907.5	815.2
悪性新生物	273.5	253.9
心疾患	143.7	126.5
脳血管疾患	97.2	102.3
肺炎	89.0	75.7
不慮の事故	30.0	30.3
老衰	30.7	19.1
腎不全	18.1	15.2
自殺	24.4	24.0
肝疾患	12.7	12.6
慢性閉塞性肺疾患	12.2	10.7

順位	死因	死亡数(人)	死亡率	割合(%)	平均年齢
	全死因	2,129	943.4	100.0	75.0
1	悪性新生物	740	327.9	34.8	73.2
2	心疾患	271	120.1	12.7	76.3
3	肺炎	194	86.0	9.1	84.3
4	脳血管疾患	191	84.6	9.0	78.4
5	不慮の事故	87	38.6	4.1	72.0
6	自殺	74	32.8	3.5	48.8
7	肝疾患	55	24.4	2.6	66.2
8	慢性閉塞性肺疾患	53	23.5	2.5	83.1
9	腎不全	40	17.7	1.9	82.0
10	老衰	33	14.6	1.6	91.3

死因	2009	2004
全死因	992.9	904.4
悪性新生物	336.4	313.5
心疾患	139.5	125.8
肺炎	97.6	83.3
脳血管疾患	96.7	99.9
不慮の事故	36.8	38.4
自殺	36.2	35.6
肝疾患	17.1	17.4
慢性閉塞性肺疾患	19.5	16.5
腎不全	17.5	14.3
老衰	15.2	10.0

順位	死因	死亡数(人)	死亡率	割合(%)	平均年齢
	全死因	1,909	797.8	100.0	82.9
1	悪性新生物	460	192.2	24.1	76.3
2	心疾患	341	142.5	17.9	85.8
3	脳血管疾患	221	92.4	11.6	84.5
4	肺炎	202	84.4	10.6	88.6
5	老衰	107	44.7	5.6	95.2
6	腎不全	61	25.5	3.2	86.9
7	不慮の事故	59	24.7	3.1	76.8
8	自殺	25	10.4	1.3	53.4
8	糖尿病	25	10.4	1.3	82.2
10	肝疾患	22	9.2	1.2	73.7
10	認知症	22	9.2	1.2	90.5

死因	2009	2004
全死因	826.3	730.1
悪性新生物	213.6	197.1
心疾患	147.6	127.2
脳血管疾患	97.8	104.5
肺炎	80.8	68.5
老衰	45.5	27.8
腎不全	18.7	16.0
不慮の事故	23.5	22.5
自殺	13.2	12.8
糖尿病	10.2	9.2
肝疾患	8.5	8.0
認知症	6.2	3.4

注1)死亡率(死因別)は人口10万人対である。

2)「心疾患」は「心疾患(高血圧性を除く)」である。

3)「認知症」は「血液性及び詳細不明の認知症」である。

4)2004年の「認知症」は「血液性及び詳細不明の痴呆」である。

表4 悪性新生物の部位別順位

福山市(2009)				
順位	死因	死亡数(人)	死亡率	前年死亡率
	悪性新生物	1,200	258.1	274.5
1	気管, 気管支及び肺	267	57.4	54.3
2	胃	167	35.9	40.1
3	肝及び肝内胆管	149	32.0	37.7
4	結腸	101	21.7	17.2
5	膵	91	19.6	21.1
6	前立腺	32	14.2	20.0
7	胆のう及び胆道	49	10.5	12.7
8	直腸S状結腸	44	9.5	10.1
9	悪性リンパ種	36	7.7	6.7
10	子宮	18	7.5	11.3
11	乳房	34	7.3	7.5
12	食道	27	5.8	5.2
13	膀胱	25	5.4	5.0
14	白血病	24	5.2	6.0
15	口唇, 口腔及び咽頭	21	4.5	5.2

全国(2009)		全国(2004)	
死因	死亡率	死因	死亡率
悪性新生物	273.5	悪性新生物	253.9
気管, 気管支及び肺	53.7	気管, 気管支及び肺	47.5
胃	39.8	胃	40.1
肝及び肝内胆管	26.0	肝及び肝内胆管	27.4
結腸	22.8	結腸	21.0
膵	21.3	膵	17.6
前立腺	16.4	前立腺	14.4
胆のう及び胆道	14.0	胆のう及び胆道	13.0
直腸S状結腸	10.9	直腸S状結腸	10.8
悪性リンパ種	7.8	悪性リンパ種	6.7
子宮	8.6	子宮	8.6
乳房	9.5	乳房	8.4
食道	9.3	食道	8.9
膀胱	5.3	膀胱	4.4
白血病	6.3	白血病	5.6
口唇, 口腔及び咽頭	5.2	口唇, 口腔及び咽頭	4.4

順位	死因	死亡数(人)	死亡率	前年死亡率
	悪性新生物	740	327.9	341.8
1	気管, 気管支及び肺	189	83.8	81.2
2	胃	113	50.1	50.6
3	肝及び肝内胆管	105	46.5	50.6
4	結腸	47	20.8	17.3
5	膵	45	19.9	20.0
6	前立腺	32	14.2	20.0
7	胆のう及び胆道	30	13.3	12.0
8	食道	22	9.7	9.8
9	直腸S状結腸	20	8.9	12.9
10	悪性リンパ種	18	8.0	8.9
10	膀胱	18	8.0	8.4
12	白血病	17	7.5	6.7
13	口唇, 口腔及び咽頭	15	6.6	8.9
14	喉頭	5	2.2	0.4
14	中枢神経系	5	2.2	0.9

死因	死亡率	死因	死亡率
悪性新生物	336.4	悪性新生物	313.5
気管, 気管支及び肺	79.9	気管, 気管支及び肺	71.3
胃	53.4	胃	53.3
肝及び肝内胆管	35.3	肝及び肝内胆管	38.0
結腸	23.1	結腸	21.6
膵	23.0	膵	19.4
前立腺	16.4	前立腺	14.4
胆のう及び胆道	14.0	胆のう及び胆道	12.1
食道	16.2	食道	15.3
直腸S状結腸	14.0	直腸S状結腸	13.8
悪性リンパ種	9.1	悪性リンパ種	7.8
膀胱	7.3	膀胱	6.2
白血病	7.8	白血病	6.7
口唇, 口腔及び咽頭	7.6	口唇, 口腔及び咽頭	6.5
喉頭	1.5	喉頭	1.6
中枢神経系	1.7	中枢神経系	1.5

順位	死因	死亡数(人)	死亡率	前年死亡率
	悪性新生物	460	192.2	211.0
1	気管, 気管支及び肺	78	32.6	28.9
2	胃	54	22.6	30.1
2	結腸	54	22.6	17.2
4	膵	46	19.2	22.2
5	肝及び肝内胆管	44	18.4	25.5
6	乳房	34	14.2	14.7
7	直腸S状結腸	24	10.0	7.5
8	胆のう及び胆道	19	7.9	13.4
9	悪性リンパ種	18	7.5	4.6
9	子宮	18	7.5	11.3
11	卵巣	9	3.8	4.6
12	白血病	7	2.9	5.4
12	膀胱	7	2.9	1.7
14	口唇, 口腔及び咽頭	6	2.5	1.7
15	食道	5	2.1	0.8

死因	死亡率	死因	死亡率
悪性新生物	213.6	悪性新生物	197.1
気管, 気管支及び肺	28.8	気管, 気管支及び肺	24.8
胃	26.7	胃	27.4
結腸	22.5	結腸	20.4
膵	19.7	膵	16.0
肝及び肝内胆管	17.2	肝及び肝内胆管	17.2
乳房	18.5	乳房	16.3
直腸S状結腸	8.0	直腸S状結腸	7.8
胆のう及び胆道	14.0	胆のう及び胆道	13.8
悪性リンパ種	6.6	悪性リンパ種	5.6
子宮	8.6	子宮	8.6
卵巣	7.1	卵巣	6.8
白血病	4.9	白血病	4.5
膀胱	3.3	膀胱	2.7
口唇, 口腔及び咽頭	2.9	口唇, 口腔及び咽頭	2.4
食道	2.8	食道	2.7

注 1) 死亡順位は死亡率の高い順である。

2) 死亡率は人口10万人対である。

3) 総数の死亡率について、「前立腺」は男性人口10万人対、「子宮」及び「卵巣」は女性人口10万人対である。

4) 「直腸S状結腸」は「直腸S状結腸移行部及び直腸」、「胆のう及び胆道」は「胆のう及びその他の胆道」である。

表5 年齢区分別死亡数及び死因順位表(上位5位)

0~4歳		第1位		第2位		第3位		第4位		第5位		次位及びその他の死因	
各人数	死因	人	死因	人	死因	人	死因	人	死因	人	死因	人	
計 10	循環器系の先天奇形	2	インフルエンザ	1	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	1	神経系の先天奇形	1	腎不全	1	敗血症、不慮の事故 他	4	
男 7	循環器系の先天奇形	2	インフルエンザ	1	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害	1	腎不全	1	敗血症	1	その他の消化器系の疾患	1	
女 3	神経系の先天奇形	1	不慮の事故	1							その他の呼吸器系の疾患	1	
5~9歳													
計 3	心疾患	1	不慮の事故	1							その他の先天奇形及び変形	1	
男 3	心疾患	1	不慮の事故	1							その他の先天奇形及び変形	1	
女 0													
10~14歳													
計 1	その他の新生物	1											
男 0													
女 1	その他の新生物	1											
15~19歳													
計 4	悪性新生物	2	自殺	1	不慮の事故	1							
男 0													
女 4	悪性新生物	2	自殺	1	不慮の事故	1							
20~24歳													
計 13	自殺	7	循環器系の先天奇形	1	心疾患	1	不慮の事故	1			その他の消化器系の疾患 他	3	
男 10	自殺	6	心疾患	1	不慮の事故	1					その他の症状、その他の新生物	2	
女 3	自殺	1	循環器系の先天奇形	1							その他の消化器系の疾患	1	
25~29歳													
計 14	自殺	8	悪性新生物	2	肝疾患	1	糖尿病	1	肺炎	1	不慮の事故	1	
男 9	自殺	6	悪性新生物	1	肝疾患	1	不慮の事故	1					
女 5	自殺	2	悪性新生物	1	糖尿病	1	肺炎	1					
30~34歳													
計 14	自殺	8	悪性新生物	1	敗血症	1					その他の症状 他	4	
男 10	自殺	6	悪性新生物	1	敗血症	1					その他の症状	2	
女 4	自殺	2									その他の外因 他	2	
35~39歳													
計 35	悪性新生物	12	自殺	11	心疾患	4	不慮の事故	4	肝疾患	1	その他の症状	3	
男 26	自殺	10	悪性新生物	8	心疾患	3	不慮の事故	2			その他の症状	3	
女 9	悪性新生物	4	不慮の事故	2	肝疾患	1	自殺	1	心疾患	1			
40~44歳													
計 36	悪性新生物	9	自殺	6	心疾患	5	肝疾患	3	不慮の事故	3	ウイルス肝炎 他	10	
男 27	悪性新生物	6	自殺	4	心疾患	4	肝疾患	2	不慮の事故	2	ウイルス肝炎 他	9	
女 9	悪性新生物	3	自殺	2	心疾患	1	肝疾患	1	不慮の事故	1	その他の循環器系の疾患	1	
45~49歳													
計 49	悪性新生物	19	自殺	6	心疾患	6	不慮の事故	5	肝疾患	2	腎不全、脳血管疾患 他	11	
男 37	悪性新生物	13	自殺	5	心疾患	5	不慮の事故	4	肝疾患	2	腎不全、脳血管疾患 他	8	
女 12	悪性新生物	6	自殺	1	心疾患	1	喘息	1	脳血管疾患	1	不慮の事故 他	2	

50～54歳

計	67	悪性新生物	24	心疾患	8	自殺	7	脳血管疾患	6	肝疾患	5	不慮の事故, ウイルス肝炎 他	17
男	46	悪性新生物	16	自殺	6	心疾患	6	肝疾患	5	不慮の事故	3	脳血管疾患, ウイルス肝炎 他	10
女	21	悪性新生物	8	脳血管疾患	4	心疾患	2	自殺	1	腎不全	1	不慮の事故 他	5

55～59歳

計	144	悪性新生物	71	自殺	14	心疾患	12	脳血管疾患	12	肝疾患	8	肺炎, 大動脈瘤及び解離 他	27
男	100	悪性新生物	47	自殺	11	心疾患	10	脳血管疾患	7	肝疾患	6	肺炎, 大動脈瘤及び解離 他	19
女	44	悪性新生物	24	脳血管疾患	5	自殺	3	肝疾患	2	心疾患	2	不慮の事故 他	8

60～64歳

計	214	悪性新生物	111	心疾患	23	脳血管疾患	19	肝疾患	10	自殺	10	不慮の事故, 肺炎 他	41
男	152	悪性新生物	76	心疾患	18	脳血管疾患	15	肝疾患	10	自殺	6	不慮の事故, 結核 他	27
女	62	悪性新生物	35	心疾患	5	自殺	4	脳血管疾患	4	ウイルス肝炎	2	不慮の事故, 肺炎 他	12

65～69歳

計	302	悪性新生物	138	心疾患	33	脳血管疾患	26	不慮の事故	18	肝疾患	14	肺炎, 自殺 他	73
男	205	悪性新生物	86	心疾患	27	脳血管疾患	17	不慮の事故	12	肝疾患	10	肺炎, 自殺 他	53
女	97	悪性新生物	52	脳血管疾患	9	心疾患	6	不慮の事故	6	肝疾患	4	自殺, 肺炎 他	20

70～74歳

計	389	悪性新生物	178	心疾患	47	脳血管疾患	31	肺炎	18	不慮の事故	17	ウイルス肝炎, 自殺 他	98
男	260	悪性新生物	121	心疾患	27	脳血管疾患	19	不慮の事故	13	肺炎	12	大動脈瘤及び解離, 慢性閉塞性肺疾患 他	68
女	129	悪性新生物	57	心疾患	20	脳血管疾患	12	肺炎	6	ウイルス肝炎	4	不慮の事故, 肝疾患 他	30

75～79歳

計	514	悪性新生物	201	心疾患	69	脳血管疾患	55	肺炎	36	不慮の事故	16	腎不全, 糖尿病 他	137
男	320	悪性新生物	135	心疾患	40	脳血管疾患	32	肺炎	23	肝疾患	8	腎不全, 不慮の事故 他	82
女	194	悪性新生物	66	心疾患	29	脳血管疾患	23	肺炎	13	不慮の事故	8	腎不全, 糖尿病 他	55

80～84歳

計	675	悪性新生物	202	心疾患	119	脳血管疾患	77	肺炎	66	不慮の事故	24	慢性閉塞性肺疾患, 腎不全 他	187
男	398	悪性新生物	131	心疾患	56	脳血管疾患	43	肺炎	42	不慮の事故	18	慢性閉塞性肺疾患, 大動脈瘤及び解離 他	108
女	277	悪性新生物	71	心疾患	63	脳血管疾患	34	肺炎	24	腎不全	8	不慮の事故, 肝疾患 他	77

85～89歳

計	676	悪性新生物	144	心疾患	129	肺炎	100	脳血管疾患	86	腎不全	25	不慮の事故, 老衰 他	192
男	272	悪性新生物	71	肺炎	43	心疾患	41	脳血管疾患	31	慢性閉塞性肺疾患	14	腎不全, 不慮の事故, 老衰 他	72
女	404	心疾患	88	悪性新生物	73	肺炎	57	脳血管疾患	55	腎不全	17	老衰, 不慮の事故 他	114

90歳以上

計	878	肺炎	156	心疾患	155	老衰	117	脳血管疾患	97	悪性新生物	86	腎不全, 不慮の事故, 慢性閉塞性肺疾患 他	267
男	247	肺炎	59	心疾患	32	悪性新生物	28	脳血管疾患	23	老衰	22	腎不全, 慢性閉塞性肺疾患, 不慮の事故 他	83
女	631	心疾患	123	肺炎	97	老衰	95	脳血管疾患	74	悪性新生物	58	腎不全, 不慮の事故, 認知症 他	184

注 1) 死因名の一部を次のように省略した。

心疾患←心疾患(高血圧性を除く)

その他の症状←その他の症状, 徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの

認知症←血液性及び詳細不明の認知症

2) 死因順位上位5位内に, 死因簡単分類上「その他」と付くものは含まない。

総計 4,038人

男性 2,129人

女性 1,909人

表6 5歳階級別悪性新生物(実数)

(人)

順位	年齢(総数)	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85歳以上
1	気管, 気管支及び肺			1	2	1	7	11	28	30	48	52	51	36
2	胃	1	1	1	1	1	3	8	19	13	21	24	37	37
3	肝及び肝内胆管					2	1	11	14	22	32	29	14	24
4	結腸			2	1		2	10	5	12	14	13	18	24
5	膵				1	1	4	7	10	11	11	11	15	20
6	前立腺					1			2	4		5	11	9
7	胆のう及び胆道					1	2	4	2	5	8	10	7	10
8	直腸S状結腸			1	1	2	1	2	6	6	7	5	5	8
9	悪性リンパ腫			1	1			2	4		8	6	6	7
10	子宮			1		2				4	4	4	2	1
総数 悪性新生物		2	1	12	9	19	24	71	111	138	178	201	202	230

順位	年齢(男性)	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85歳以上
1	気管, 気管支及び肺			1	2		5	7	19	27	32	40	34	22
2	胃	1	1		1	1	2	4	15	9	17	18	26	18
3	肝及び肝内胆管					2	1	11	12	14	27	21	10	7
4	結腸			1			2	5	2	7	9	9	8	4
5	膵				1	1	1	5	6	7	7	4	8	5
6	前立腺					1			2	4		5	11	9
7	胆のう及び胆道					1	2	3	1	2	6	6	5	4
8	食道					1	1	4	4	2	2	5	3	
9	直腸S状結腸			1		2	1	1	3	2	4	2	3	1
10	悪性リンパ腫			1	1				2		4	3	4	3
10	膀胱										4	4	3	7
総数 悪性新生物		1	1	8	6	13	16	47	76	86	121	135	131	99

順位	年齢(女性)	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80~84	85歳以上
1	気管, 気管支及び肺					1	2	4	9	3	16	12	17	14
2	胃			1			1	4	4	4	4	6	11	19
2	結腸			1	1			5	3	5	5	4	10	20
4	膵						3	2	4	4	4	7	7	15
5	肝及び肝内胆管								2	8	5	8	4	17
6	乳房			1	1			2	4	8	4	7	2	5
7	直腸S状結腸				1			1	3	4	3	3	2	7
8	胆のう及び胆道							1	1	3	2	4	2	6
9	悪性リンパ腫							2	2		4	3	2	4
9	子宮			1		2				4	4	4	2	1
総数 悪性新生物		1	-	4	3	6	8	24	35	52	57	66	71	131

注 1) 死亡順位は表4に準ずる。 2) 「直腸S状結腸」は「直腸S状結腸移行部及び直腸」, 「胆のう及び胆道」は「胆のう及びその他の胆道」である。

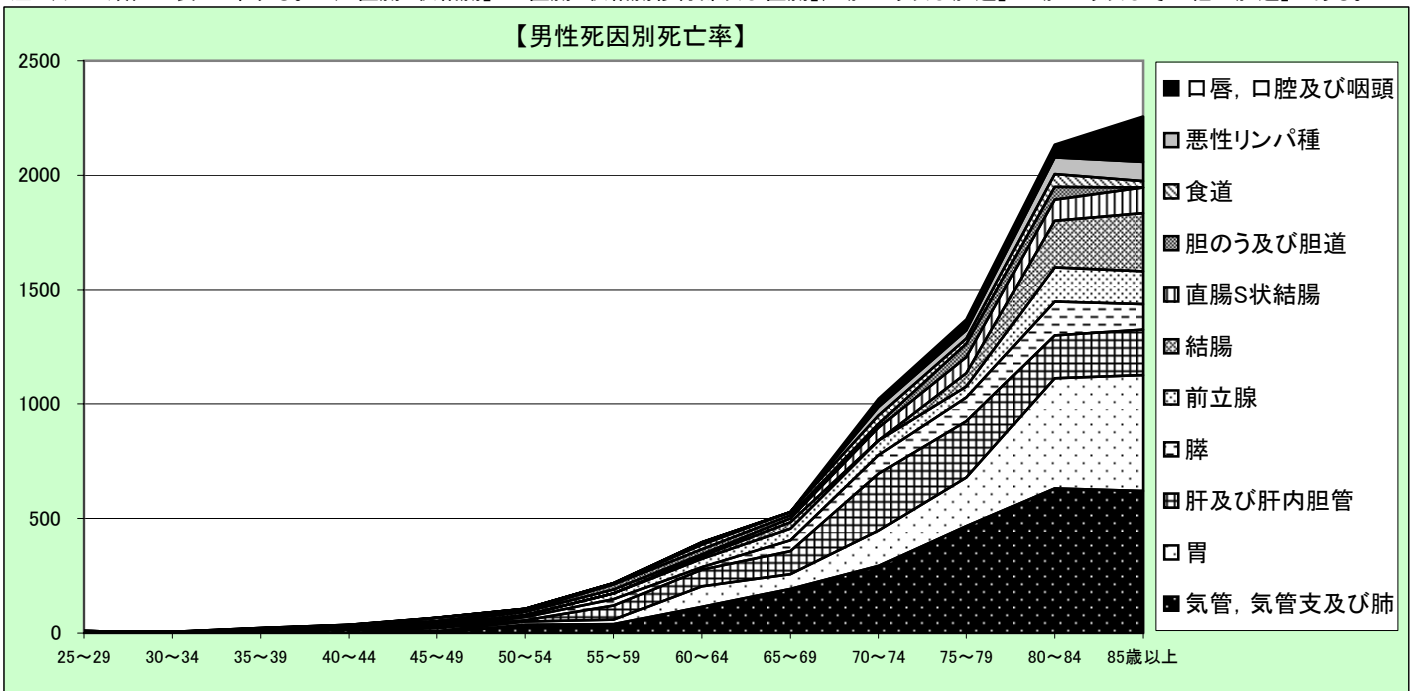


表8 主要死因(死亡率)の推移 (10万人対)

年次	悪性新生物	心疾患	脳血管疾患	肺炎	不慮の事故
2003	231.2	116.0	86.1	84.9	31.3
2004	241.3	122.6	80.3	63.6	33.3
2005	244.5	123.6	89.2	90.1	32.0
2006	252.7	126.3	84.0	93.2	28.3
2007	242.3	125.4	90.1	89.9	32.3
2008	274.5	137.3	86.0	96.7	33.8
2009	258.1	131.6	88.6	85.2	31.4

注)「心疾患」は「心疾患(高血圧性を除く)」である。

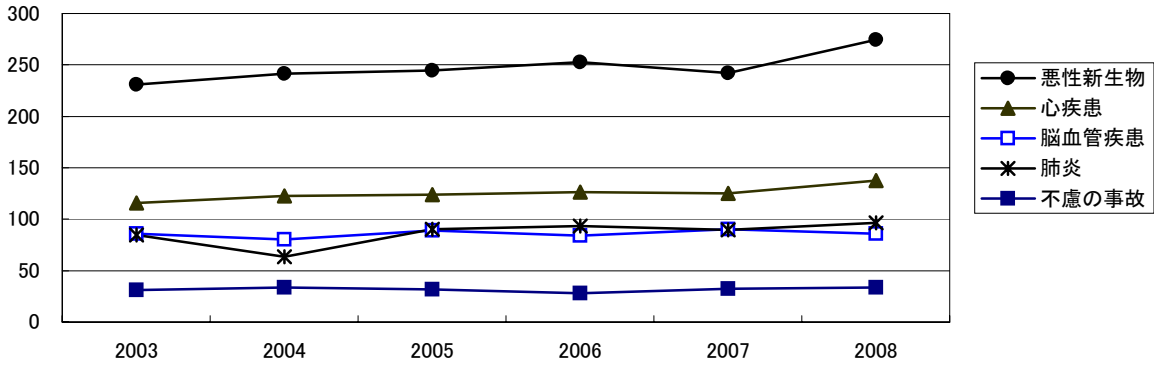


表9 自殺者の推移

(単位:人)

年次	自殺者数			死亡者数	割合(%)
	男	女	計		
2003	70	15	85	3,164	2.7
2004	58	21	79	3,126	2.5
2005	68	20	88	3,468	2.5
2006	72	36	108	3,838	2.8
2007	73	29	102	3,770	2.7
2008	67	29	96	4,122	2.3
2009	74	25	99	4,038	2.5

注) 割合は全死亡者数に占める自殺者数の割合である。

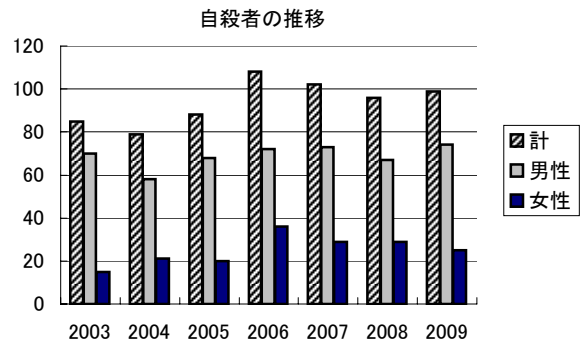
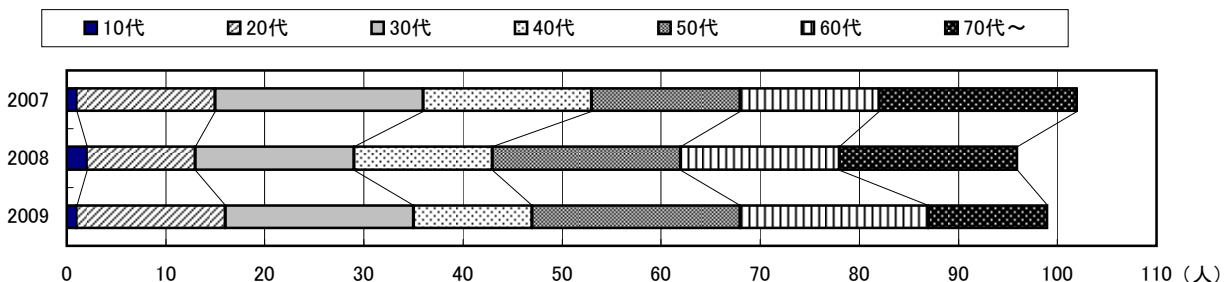


表10 年齢別自殺者数

(単位:人)

区分 年齢(歳)	2009			2008			2007		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
10~14	0	0	0	0	0	0	0	0	0
15~19	0	1	1	1	1	2	1	0	1
20~29	12	3	15	7	4	11	10	4	14
30~39	16	3	19	11	5	16	16	5	21
40~49	9	3	12	13	1	14	12	5	17
50~59	17	4	21	18	1	19	12	3	15
60~69	13	6	19	8	8	16	9	5	14
70以上	7	5	12	9	9	18	13	7	20
総数	74	25	99	67	29	96	73	29	102

年齢区分別自殺者数の推移



(3) 死産

表1 妊娠期間別死産数

妊娠期間	自然死産		人工死産		計	
	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)
満12週以上16週未満	14	25.9	37	52.1	51	40.8
満16週以上20週未満	14	25.9	20	28.2	34	27.2
満20週以上24週未満	7	13.0	14	19.7	21	16.8
満24週以上28週未満	2	3.7	0	0.0	2	1.6
満28週以上32週未満	4	7.4	0	0.0	4	3.2
満32週以上36週未満	3	5.6	0	0.0	3	2.4
満36週以上40週未満	8	14.8	0	0.0	8	6.4
満40週以上	2	3.7	0	0.0	2	1.6
総数	54		71		125	

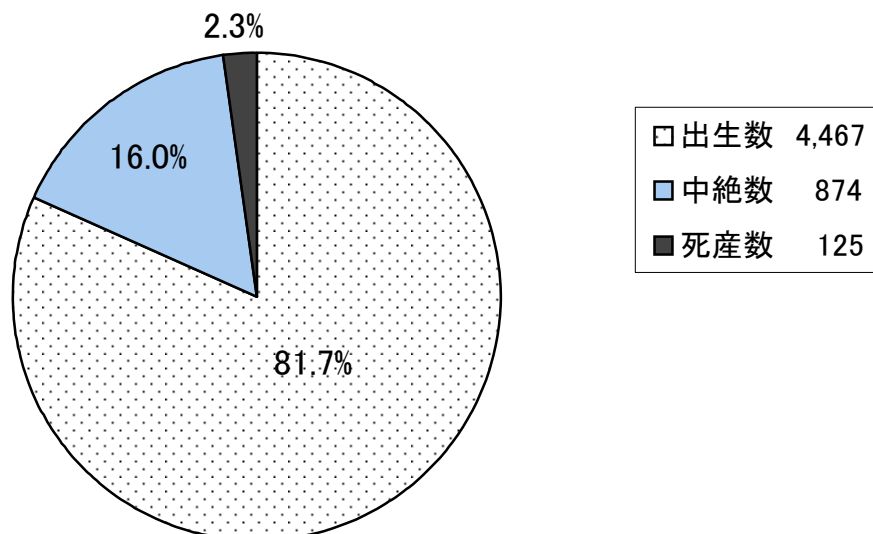
再掲(非嫡出子) 妊娠期間	自然死産		人工死産		計	
	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)	実数(人)	割合(%)
満12週以上16週未満	1	25.0	26	57.8	27	55.1
満16週以上20週未満	0	0.0	15	33.3	15	30.6
満20週以上24週未満	0	0.0	4	8.9	4	8.2
満24週以上28週未満	1	25.0	0	0.0	1	2.0
満28週以上32週未満	1	25.0	0	0.0	1	2.0
満32週以上36週未満	0	0.0	0	0.0	0	0.0
満36週以上40週未満	1	25.0	0	0.0	1	2.0
満40週以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
総数	4		45		49	

表2 死産率

区分	死産率	自然死産率	人工死産率	死産率(嫡出子)	死産率(非嫡出子)
2009	27.2	11.8	15.5	17.1	316.1
2008	24.0	10.8	13.2	16.6	246.6
2007	24.0	10.6	13.4	14.8	264.7
2006	28.7	10.1	18.6	16.5	278.8
2005	29.8	11.3	18.5	16.7	339.5

注)死産率は人口千人対である。

表3 出生関連数値の割合



(4) 婚姻

表1 平均婚姻年齢及び夫妻の年齢差

(単位:歳)

区分	全婚姻		初婚		年齢差	
	夫	妻	夫	妻	全婚姻	初婚
福山市	32.0	29.8	29.6	28.0	2.2	1.6
広島県	-	-	29.8	28.2	-	1.6
全国	32.4	30.1	30.4	28.6	2.3	1.8

表2 初婚, 再婚の内訳

(単位:人)

区分 年齢	初婚		再婚		全婚姻	
	夫	妻	夫	妻	夫	妻
16~19歳	27	82	1	1	28	83
20~24歳	400	546	11	21	411	567
25~29歳	846	948	57	79	903	1,027
30~34歳	505	454	135	122	640	576
35~39歳	269	160	115	96	384	256
40~44歳	68	34	71	51	139	85
45~49歳	20	9	51	29	71	38
50~54歳	13	3	31	20	44	23
55~59歳	3	0	28	23	31	23
60~64歳	2	1	28	16	30	17
65~69歳	0	1	14	6	14	7
70歳以上	1	1	12	5	13	6
総数	2,154	2,239	554	469	2,708	2,708

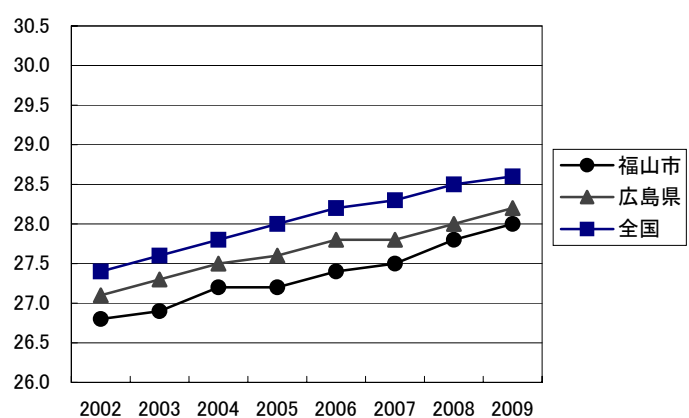
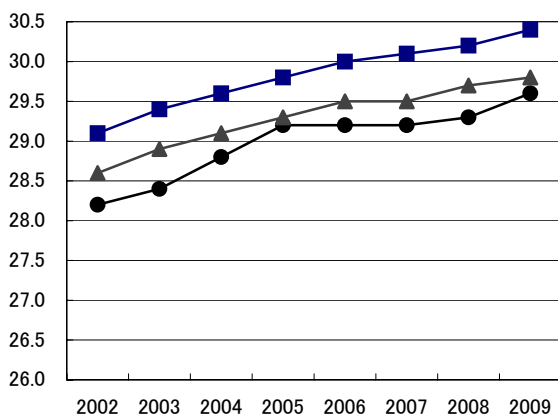
表3 平均婚姻(初婚者)年齢の推移

(単位:歳)

区分		2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
福山市	夫	28.2	28.4	28.8	29.2	29.2	29.2	29.3	29.6
	妻	26.8	26.9	27.2	27.2	27.4	27.5	27.8	28.0
広島県	夫	28.6	28.9	29.1	29.3	29.5	29.5	29.7	29.8
	妻	27.1	27.3	27.5	27.6	27.8	27.8	28.0	28.2
全国	夫	29.1	29.4	29.6	29.8	30.0	30.1	30.2	30.4
	妻	27.4	27.6	27.8	28.0	28.2	28.3	28.5	28.6

夫の平均初婚年齢

妻の平均初婚年齢



(5) 離婚

表1 同居期間別にみた離婚件数・平均同居期間

同居期間	2009		2008		2007		2006	
	離婚件数	割合(%)	離婚件数	割合(%)	離婚件数	割合(%)	離婚件数	割合(%)
1年未満	91	10.0	65	7.9	59	6.9	62	7.0
1年以上2年未満	92	10.1	70	8.5	76	8.9	67	7.5
2年以上3年未満	68	7.5	63	7.7	81	9.5	71	8.0
3年以上4年未満	63	6.9	60	7.3	51	6.0	72	8.1
4年以上5年未満	60	6.6	51	6.2	51	6.0	58	6.5
5年未満	374	41.0	309	37.7	318	37.3	330	37.1
5年以上10年未満	190	20.8	197	24.1	212	24.9	224	25.2
10年以上15年未満	122	13.4	118	14.4	109	12.8	113	12.7
15年以上20年未満	85	9.3	77	9.4	80	9.4	90	10.1
5年以上20年未満	397	43.5	392	47.9	401	47.0	427	48.0
20年以上25年未満	68	7.5	52	6.3	59	6.9	61	6.9
25年以上30年未満	34	3.7	36	4.4	37	4.3	36	4.0
30年以上35年未満	23	2.5	15	1.8	25	2.9	20	2.2
35年以上	16	1.8	15	1.8	13	1.5	16	1.8
20年以上	141	15.5	118	14.4	134	15.7	133	14.9
不詳	66		55		67		51	
総数	978		874		920		941	
平均同居期間(年)	9.9		10.0		10.1		10.1	

注)割合は総離婚件数(同居期間不詳を除く)に占める同居期間別の離婚割合である。

(6) 参考

表1 不慮の事故の死亡数及び死亡率(人口10万人対)

年齢	窒息	転倒・転落	溺死	交通事故	火災	有害物質	その他	総数	死亡率	割合(%)
0~9	2	0	0	0	0	0	0	2	4.5	15.4
10~19	0	0	0	1	0	0	0	1	2.2	20.0
20~29	0	0	0	1	0	1	0	2	4.0	7.4
30~39	0	1	0	3	0	0	0	4	5.9	8.2
40~49	1	0	1	5	0	1	0	8	14.5	9.4
50~59	1	0	0	3	0	1	1	6	9.6	2.8
60~69	5	3	2	6	2	0	7	25	37.5	4.8
70~79	7	2	9	12	1	0	2	33	75.2	3.7
80以上	24	22	5	9	0	0	5	65	227.7	2.9
男性	23	12	13	25	3	3	8	87	38.6	4.1
女性	17	16	4	15	0	0	7	59	24.7	3.1
総数	40	28	17	40	3	3	15	146	31.4	3.6

注1)「溺死」は「不慮の溺死及び溺水」, 「火災」は「煙、火及び火炎への曝露」,
「有害物質」は「有害物質による不慮の中毒及び有害物質への曝露」である。
2)割合は年齢階級ごとの総死亡数に対する不慮の事故死の割合である。

表2 結核の死亡数及び死亡率(人口10万人対)

区分	死亡数(人)			死亡率		
	2009	2008	2007	2009	2008	2007
福山市	6	7	6	1.3	1.5	1.3
広島県	60	54	60	2.1	1.9	2.1
全国	2,159	2,220	2,194	1.7	1.8	1.7